

令和4年度第2回三浦市総合教育会議会議録

○日 時 令和4年7月22日（金） 午後3時02分～午後3時30分

○場 所 三浦市役所第2分館 第3会合室

○次 第

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 報 告
(1)三浦市学校教育ビジョンについて
- 4 その他
- 5 閉 会

○出席者（6名）

市 長	吉 田 英 男
教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	越 智 康 一
教 育 委 員	石 毛 浩 雄
教 育 委 員	石 崎 勇 吾
教 育 委 員	廣 瀬 牧 実

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	増 井 直 樹	教 育 総 務 課 長	塚 本 孝 治
学 校 教 育 課 長	高 梨 真 一		

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	浦 西 伸 一	教 育 総 務 課 主 事 補	吉 田 かおり
-------------------	---------	-----------------	---------

○傍 聴（5名）

- 増井教育部長 ただいまより、「令和4年度第2回三浦市総合教育会議」を開会いたします。
本日の会議の進行は教育部の増井が務めます。よろしくお願いいたします。
本会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項によりまして、原則公開となりますので、ご承知おきをよろしくお願いいたします。本日の会議開催にあたり傍聴を希望する方がおられますので入室の許可をいただくようお願いいたします。

(傍聴希望者がおり議長(市長)に許可を受け傍聴者が入室)

- 増井教育部長 会議の開催にあたりまして、報道の方より写真撮影の申し出がございましたので許可をいただくようお願いいたします。
では改めまして、会議の主催者であります吉田市長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

- 吉田市長 総合教育会議、久しぶりの開催になりますけど、学校教育ビジョンの見直しに伴いましてアンケートを今、盛んにさせていただいています。
アンケート結果の報告を総合教育会議でさせていただいて、また地域協議会へフィードバックするというような仕組みでやらせていただく予定ですので、今日は最初の報告を受けたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

- 増井教育部長 ありがとうございます。
これ以降、議事の進行につきましては地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4におきまして、地方公共団体の長が総合教育会議を設け、また、招集することとなっておりますので、市長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

- 吉田市長 それでは議長を務めさせていただきます。本日の会議は報告事項が1件となります。
早速ですが、報告事項の「三浦市学校教育ビジョンについて」事務局から説明をお願いします。

- 塚本教育総務課長 それでは、三浦市学校教育ビジョンについて説明させていただきます。
令和4年6月8日～22日までに実施しました、保護者向けアンケートについて、単純集計が終了いたしましたので、ご報告いたします。資料1をご覧ください。
アンケートの配布数につきましては、三浦市立小学校に通う児童保護者1,116名と令和4年5月1日現在の、未就学児保護者565名、合計1,681名になります。
アンケート1の基本情報につきましては、各小学校別の回答件数、未就学児の保護者に対しては入学予定校別に集計しております。回答数につきましては資料記載のとおりですが、全体の回答率としては46.5%ということになっております。

次に、2小学校について①は小学校の教育に重要視するものを5つ以内で選んでいただきました。多かった回答の上位5つは、「1 基礎的・基本的な学力を伸ばす教育」、「11 自尊心や思いやりなどの心を育てる教育」、「7 社会性やコミュニケーション能力を伸ばす教育」、「12 マナーや社会のルールを身に付けさせる教育」、「2 多様な意見や考えに触れ、切磋琢磨できる教育」となっております。

「17 その他」の意見としては、「日本の伝統文化、本当の正しい歴史教育」、「毎日、学校で楽しく過ごせること」といった記述がございました。

次に2-②は、1学級の上限児童数35人を基準と考えた場合に、2-①で選択した教育を達成するためには、1学校あたりどの程度の学級数が必要と考えますかといった設問に対して、こちらも資料記載のとおりではございますが、3～5番の今以上の規模が必要という回答が、合計すると73.5%ございましたが、そのうちの統廃合には反対という答えが16.9%ございました。

また、この統廃合反対16.9%と複式でもよいが11.4%、学年1学級が必要と答えた方11.9%を合計すると40.2%になります。このあと2-④では、2-②で「1学年複数学級が良いと考えるが統廃合には反対する」と回答された方の理由が記載されておりますけれども、この理由とされている問題が解決されればこの数値は変動するものと考えております。

また、学校教育ビジョン策定前の平成28年に実施したアンケートとの比較では、およそ9割が1学年2学級以上がよいとされていた結果に比べ、今回複式学級でもよいが11.4%、単学級がよいが11.9%と、回答件数の率はかなり増加している結果となっております。

こちらのその他の意見といたしましては、「授業内容によっては複式学級がよい」、「教員のやり易い規模がよい」、「学級数にこだわりはない」、「1学級20人程度で単学級は手厚くてありがたい」、「1学年4学級がよい」といった御意見がございました。

続きまして、2-③では、2-②で「複式学級でも良い」と回答された理由として、資料記載の結果のほかに、その他の理由として「児童数が少なければ学力に差が出ないのではないか」、「学力別で少人数のグループがよい」といった御意見がございました。

次に2-④では、2-②で「1学年複数学級が良いと考えるが、統廃合には反対する」と回答された理由としては、通学の問題、安全性、体力的問題についての理由が多く、その他としては、「今の学校が好きなのでこのままでいたい」、「生徒と教員の関係がとても良いので」、「子育て世代の安住が減少する」、「過疎化が心配」、「校舎の跡地利用などを示すべき」などの御意見をいただいております。

続いて2-⑤では、2-②で今以上の規模の学級数がよいと答えられた方への設問になりますが、選択した規模を確保するためには、今後、統廃合を実施することが必要となってまいります。あなたのお考えに近いものを聞いております。回答は資料記載のとおり、複式が見込まれる学校から段階的に進めるが多く65%となっております。

続いて2-⑥は、統廃合を検討するうえで、注意すべきことや、講ずべき対策について全員に聞いております。回答は、登下校の安全策、通学費の負担などの意見が多く、その他としては、「通学時間の差が、学習時間の差にならないようにケアしてほしい」、「各学校に学童保育施設を設置してほしい」、「子育て世代が住みやすい環境整備が必要」、「災害時の安全確保」、「在学中の子どものケアをしてほしい」などがございました。

次に2-⑦では、理想的だと考える1学級あたりの児童数を全員にお聞きしております。回答は、「21人～30人」が一番多く、「11人～20人」と合わせると、9割以上の意見となり、先に

実施いたしました、教職員向けアンケートでも同様の結果となっております。その他の意見としては、「15人～25人」又は「35人以下であればいい」のほか、「低学年と高学年は切り分けてはいかか」といった御意見がございました。

3番の学校教育以外に関することで、小学校に期待するものとして、全員に聞いております。回答は、資料記載のとおりでございますが、その他としては「保育施設」、「多目的利用施設」、「図書館として機能されたい」などがございました。

最後になりますが、本日報告いたしました単純集計結果は、学校教育ビジョン地域協議会にも報告いたしまして、分析、協議をしていただき、まとめていただく予定です。

また、保護者向けアンケート結果は、三浦市ホームページ、学校教育ビジョンのページに公開する予定でございます。

報告については以上となります。

○吉田市長 説明は終わりました。

御質問等、御意見等ありましたらお願いしたいと思います。

では、皆さんお一人ずつどうぞ。

○越智委員 2-④の2-②で5を選択したところで、統廃合に反対する理由、それから2-⑥の統廃合を検討するうえで注意すべきことや講ずべき対策についてということで、この辺で統廃合には反対したり、あるいは不満を持ったり、統廃合する上では対策を講じてほしいという風なことは、かなりこのアンケートで見えてきたのではないかなというか明らかになってきているのではないかなという風に感じます。

できるだけこういう意見を反映したり、あるいは不安を解消したりするようなことを講じながら、進めていくことが大事なんじゃないかなという風に思います。

○石崎委員 このアンケートから2-②の「複式学級でも良い」とか、学年1学級でもよいという意見が増えたって出ているんですけども2-①のほうで、順位で言うと2、3番がやっぱり社会性やコミュニケーション能力を伸ばす教育だったり、自尊心、思いやりなどの心を育てる教育っていうところでは、やっぱり子どもたちの出会いというか人数が多ければ育つ教育になるのではないかなとは思いました。

それなんで子どもたちのことに関してはそういう風になってもらいたいけれど、やっぱり保護者の意見では2-④の距離が遠くなるかそういうところが保護者的には、拒んでるってわけではないんですけど複式でも、今のままでもいいという風な意見になっているのかなと思いました。

○石毛委員 2-①のアンケート結果トップ3等々が先生方とのアンケート結果と重複するようなかたちであり、保護者と現場の先生方との思いが共通するものがあるのかなと感じました。

また、各委員がおっしゃっているように統廃合等々アンケートで反対される理由についても子どもたちの通学についての懸念が上位を占めている点について、保護者の方の心配事というのはこういうところにあるのではないかなという風にこの点から読み取れることができたと思います。

○廣瀬委員 2-②の結果ですけれども28年度よりも1、2の複式学級又は単学級がいわゆる割合が増えていると報告がありましたけれども、平成28年の参考資料にもありましたけれども平成28年と今とでは学級数自体が14学級ぐらい減少しているということもありますのでやっぱりこの何年間かこの単学級で過ごしている方もすごく多くなってきているというような、感覚的にこの何年間でだいぶ保護者の方の感覚っていうのも変わっている、変化しているのかなっていう感覚はあります。

ここでちょっと3の学年1～2学級っていう風に書いてありますけれども、この辺の1学級なのか2学級なのかっていう感覚もちょっともしかしたら28年の時と少し違うのかなっていうような感じもしました。

あと、2-③のところでは3の「人間関係が深まりやすい」、4の「異学年の交流が生まれやすい」ということのパーセンテージが大きいんですけども、やっぱり少ない人数であるから、単学級なんかは少ない人数なのでどうしても学年を越えた繋がりが自然にできていたり、充実している学校が多いんじゃないかなって思うんですけども、やっぱりそこがいいっていう保護者の方はそう感じている部分、学年を超えた人間関係ができるというようなことがすごくいい面だなんて思っている方も多んじゃないかなって思ったんですけども、こういうところは今後現実的な複数学級になったとしても工夫次第では改善できる部分でもあるのかなという風にも思いましたので、ここは前向きにも考えていく必要があるのかなと思いました。

あとはもう、全体的には他の委員さんも言っていましたけれども、通学路とかの安全面、登下校のことですね、そこが実際の声としても私の耳にもすごく入ってくる場所ではあるので、実際の保護者の心配事、やっぱりここの心配は大きな課題になっていくのかなと、このアンケートを見ても感じました。

○吉田市長 では、教育委員会として教育長からもお願いします。

○及川教育長 今回の結果を見まして、2-②「複式学級でも良い」、「学年1学級」という規模を望む人っていうのは、意外に多かったと感じるところもあるんですけども、このことをちょっと視点を変えて考えると、今の小規模な学校の中でも先生たちがそのことを受け止めて工夫、努力をしながらより充実した教育をしている、できている、そのことを保護者が評価してくださっているということの証にもなるのかなということで、ある面では喜ばしい結果とも受け止められるのかなと思います。

ただ、教員のアンケートの中ではやはりある一定の規模を望むという風なことが出ていますので、この先の教育を考えるとそういう規模の学校が必要だというような答えもしていますので、やはりアンケートっていうのはそれぞれ単独で見えていくのではなくて、今後市民アンケートも取りましてそういうことを総合的にとといいますか、照らし合わせながら今後の三浦市の学校の在り方っていうのを考えていく必要があるのかなというように感じを受けました。

○吉田市長 私の率直な感想は、やっぱり学校教育ビジョンが市民的な議論になって、市内の保護者の皆さんも以前に比べるとさっき廣瀬委員がおっしゃったように、前回のアンケートに比べると若干変わってきているなどそれだけ真剣に保護者の皆さんに考えていただけるような環境に進みつつあるという風に認識します。

やはり、越智委員が言ったように不安を解消しなきゃいけないんで、最初のいわゆる反省点やっぱりあるんですよね。反省点っていうのは、市内の学校を統合しようという大きな計画を作ったのはいいんだけどそれをきちんとバックアップできるような仕組みはあとで考えていきましょうというようなやり方だったんですよね。それがいい面もあるけど大きな目標としてそれに向けて検討していきましょうという最初の学校教育ビジョンだけど、それがあまりにも不安をあおってしまったようなことがあったんで、今回の学校教育ビジョンの見直しについては、きちんと教育委員会として、市として、この総合教育会議として、一定度のきちんとした体制を固めて学校教育ビジョンの見直しをしようという動きでやったほうがいいと私は思います。いずれにしても、今回こういったアンケートについて一旦結果は出ましたけど、これから市民向けアンケートを予定していますので、今日は保護者向けアンケートの中間報告ということですべてアンケートの分析ができましたら、地域協議会に御意見をお諮りして、一定度の方向性を定めていこうということで、教育委員会ですっかりと進めていってもらいたいということがあります。

この総合教育会議では、その結果を受けて教育ビジョンの見直しを協議していこうということになりますけど、時間的にもそんなにダラダラ長い時間かけたりということは考えていませんので、ぜひ一定度のタイムスケジュールを決めながらやっていきたいという風に思います。

まずは、市内の教育体制をどうしていこうかっていうことの骨格を固めて総合教育会議の役割としては、教育の中身、例えば三浦らしい教育、学力向上、そういうことも相対的にきちんと議論していかなければいけないとっておりますので、それを認識していただいてぜひ子どもたちのためになる体制、学校教育ビジョンを作り上げていって、それを御理解いただいて教育の中身も併せてやっていこうということで共通の認識をもちたいと思います。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

まだまだもうちょっと時間はかかるかと思いますがきちんと分析をして、意見が散らばってきたという認識もありますので、文科省の大きな制度というのもあるので、例えば三浦市30人学級でいこうと、やろうと思えばできるのかもしれないけど、いわゆる教育の基になる文科省の方針を逸脱したりとかっていうところもあるので、思いきってやっているところもあるみたいだからそれもいいかなと思いますけど、私がここでまた踏み込んで何か言うとか騒ぎになるので、そこはしませんけど、議論をしっかりやって子どもたちや保護者の望む体制づくりを目指しましょうということをお願いをしたいと思います。

他に御意見ありますか。

(発言等なし)

○吉田市長 廣瀬さんは保育園でこれから小学校に上がる子どもたちがいるけれども、保護者の皆さんってけっこう心配していますよね。

○廣瀬委員 正直この学校になるんじゃないかぐらいの話が出ることも、例えば南下浦地区ならばこの学校になるんじゃないかみたいな話が出ることもあるんですよ実は、全くそんなことはゼロだよっていう風に私はまだそんなこと決まっていないう話したのはあるんですけども、ちょっとそういう噂話っていうのがそういう思いとかが独り歩きしてしまうよう

なことも見受けられるので、やっぱりそれは危険な場合もありますからきちんと方向性とかア
ピールしていかなきゃいけないのかなという風には思います。

やっぱりすごい現実的なことをすごく心配していて、とにかく保護者の方ってというのはだか
らやっぱり先ほど市長もおっしゃられていたように大まかなことよりもある程度目に見えるよ
うなものがこう見えていると保護者の方って安心感があるのかなっていう風に思いますので、
そこも両立してやっていくほうがいいのかっていう風に思います。

○吉田市長 よろしいですか。テーマが一つだったので今日はこのくらいでよろしいでしょ
うか。

それでは、議事を終了させていただきたいと思います。

その他何かございますか。

(特になし)

○吉田市長 ないようでしたら、これで今日の議事は終了させていただきたいと思いま
す。事務局にお返しをいたします。

○増井教育部長 ありがとうございました。

本日予定しておりました内容は全て終了いたしました。

以上を持ちまして本日の総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

傍聴者の方はご退出ください。

◇ 午後 3 時 30 分 閉会 ◇
